環境対応主題に討議
現状や市場動向を報告

各国の環境対応に注目が集まる

第13回APIC（アジア塗料工業協議会）会議が11月2日、タイ・バンコクのMONTIEN RIVERSIDE HOTELで開かれ、アジア・パシフィックの10塗料工業会が一堂に会し、喫緊の課題である環境対応を主題に据え、各国の塗料産業を取り巻く昨年来の現状やマーケットなどについて報告し合った。

第13回アジア塗料工業協議会が開催

同会議は1年に一度開かれており、今年はオーストラリア、バングラデシュ、中国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、日本、ベトナムの塗料工業会が参加。インド、パキスタン、スリランカ、インドネシア、韓国の4工業会は不参加であった。

当日は、今回ホストを務めたタイ塗料工業会（TPMA）のBaiEason会長による開会あいさつに続き、APIC事務局である日本塗料工業会が昨年マレーシアで開催した議事内容を読み上げた後、各国工業会の発表が行われた。

さらに日塗工は、各国塗料工業会から日本における環境問題に対する取り組みを知りたいとの強い要望を受け、工場等の省エネ対策、新技術対応（太陽光高反射率塗料ほか）、保護機能（船舶用防汚塗料によるCO_2削減ほか）、コーティング・ケア、VOC排出削減、ホルムアルデヒド自主管理、GHSといった多面的な活動のほか、色見本帳や一般生活者への需要喚起について紹介した。

その他、同会議に出席したIPPIC（国際塗料印刷インキ協議会）代表からは同協議会の役割と将来の活動方向について、また英国の業界専門誌APCJ編集長からはインドネシアの市場性と同国で2010年に開催するコーティングショーの案内、さらにJames Consulting のコンサルタントは粉体市場の有望性についてそれぞれ情報を提供した。

なお、会議総参加者数は、タイ国内から52人、海外から31人の計83人であった。

次回第14回APIC会議は、各国においてREACH、鉛フリー、VOC、GHSなどへの取り組み方・進み方が異なるため、事前にレポートを提出し、それに基づいて討議していくこと、また開催地を中国・北京に決め、閉会した。

閉会後、当日は1年に一度、満月の日に行われるタイで最も伝統的な祭りのひとつLoy Krathong Dayにあたり、参加工業会は親交を深めつつ塗料産業の発展を誓い合った。

◇

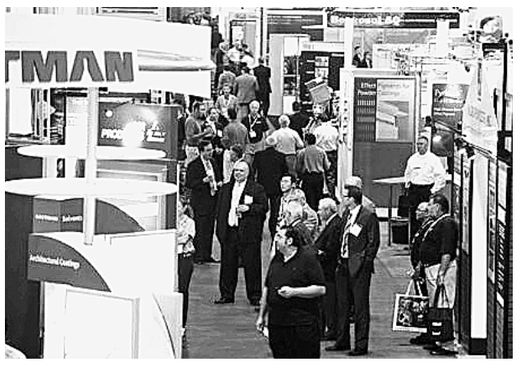
なお、2008年各国塗料生産量（単位は各国表記）は次の通り。

▽オーストラリア＝2億2500万ℓ
▽バングラデシュ＝59万8千～6万1500t
▽中国＝637万9964t
▽マレーシア＝1億2175万9千ℓ
▽フィリピン＝2億2千万ℓ
▽シンガポール＝1億900万ℓ
▽台湾＝41万5836t
▽タイ＝42万8950t（消費量）
▽日本＝183万8173t
▽ベトナム＝2億4100万ℓ

TPMA首脳陣。右から2人目がBai会長

次回開催は中国・北京に。開催を祝う日塗工・久米専務、TPMAのBai会長、中国塗料協の岳秘書長（右から）

世界の塗料動向が分かる
米国塗料産業視察
ツアー参加者募集


前回2008年開催時の模様

塗料報知新聞社は、来年4月13日から3日間、アメリカ・ノースカロライナ州シャーロットのシャーロットコンベンションセンターで開かれる米国塗料工業会主催の「アメリカンコーティングスショー」をメーンにした米国塗料産業視察旅行を企画しました。

日程は4月11日から8日間、成田国際空港を出発し、シャーロットコンベンションセンターで2日間、コーティングショーを見学します。

また、クリーブランドではノードソンアメリカ本社を訪問、パウダーのUVシステム並びにハンドガンのデモンストレーションおよびパウダー産業の今後などを勉強するほか、ペイントショップやホームセンターなど塗料流通を視察します。さらに、ニューヨークではグランドゼロの建設現場視察と流通市場の見学もします。

近日中に参加者の募集を開始します。米国塗料産業の動向および今後の勉強の場に、是非ご参加をお奨め致します。

充実した展示内容

アメリカンコーティングショーと隔年で開催することになりました。FSCTは80数回開催した伝統があり、アメリカンコーティングスショーは、このノウハウを引き継ぎ、充実した展示会となっています。

塗料年鑑2010年版
限定予約特価で受付中

業界唯一の総合資料集「塗料年鑑」2010年版の発刊を12月中旬に予定しています。たいへん本紙ご愛読の皆様に、〝お得〟な限定予約特価にてご案内中です。2010年の区切りを迎える次年版はエコに配慮した装丁に改め、さらに見やすく充実した内容の収録に努めています。是非一冊、お申込みは「塗料年鑑」編集室（☎03・3260・6116、FAX03・3260・6117）までどうぞ。

耐候性良好・低汚染・環境対応型
弱溶剤二液型シリコンウレタン塗料
ユメロック®
ロックペイント
http://www.rockpaint.co.jp

「～できます」
「～できません。」
をハッキリすることから、大切な信頼が生まれます。
YES! NO!
当社は、信頼を大切に築いて納得のゆく取引をと願っています。
工業用塗料と化学品並びに機器の販売
名神株式会社
〒535 大阪市旭区太子橋1-27-6-0001（名神ビル）
電話　(06)6952-3261㈹
ファックス　(06)6954-1616
営業所／大阪・東京・名古屋・山口・福岡

塗料報知
発行所　塗料報知新聞社
編集印刷発行人　有馬得之
本社　電話(03)3260-6111
東京都新宿区矢来町3番地
FAX（03）3260－6116
振替口座　00170-5-196510番
関西支社　電話(06)6244-0601
大阪市中央区南船場3-3-27（サンエイビル）
FAX（06）6245－4091
振替口座　00900-2-120509番
中国連絡事務所　電話(86)10-8463-1683
北京市朝阳区小営路12号（2号楼1D）
FAX（86）10-8465-1907
購読料1か年（消費税込み）24,150円
URL http://www.e-toryo.jp
日本専門新聞協会加盟紙

©塗料報知新聞社 2009

秋の褒章受章者

黄綬褒章
中島國雄氏

中島國雄氏は昭和15年2月14日生まれ、栃木県在住、69歳。中島塗装社長、関東マスチック事業協同組合副理事長。昭和33年中島塗装入社。55年から社長。

平成16年から関東マスチック事業協同組合副理事長および全国マスチック事業協同組合連合会理事を務める。また、18年から日塗装栃木県支部副支部長。16年から栃木県建設産業団体連合会理事。19年建設事業功労により国土交通大臣表彰を受けた。

黄綬褒章
清家純夫氏

清家純夫氏は昭和21年8月31日生まれ、福岡県出身・在住、63歳。清家塗装福岡県支部副支部長。昭和37年清家塗装店入社。59年から社長。

平成10年から13年まで日塗装理事。同九州ブロック会では15年から20年まで九州支部連合会副会長、12年から日塗装福岡県支部副支部長。6年から8年まで北九州塗装協同組合副理事長を歴任した。

平成20年厚生労働大臣表彰（現代の名工）卓越技能章を受けた。

たゆまぬ努力が形に
大塗工　優良社員表彰式を開催

大阪塗料工業協同組合（内海浩之理事長）は、第56回（平成21年度）優良社員表彰式を6日午後4時から大阪市北区梅田のハービスOSAKAで開催した。

内海理事長はあいさつで「表彰を受けられる33人の皆様は会社発展のため、たゆまぬ努力を重ねられ、多大な貢献をされた方々です。当組合の優秀社員表彰は昭和29年に第1回目がスタートして今年で56回を数えます。第1回目表彰者から本日表彰を受けられる方々を含めると2035人が表彰を受けられることになりました。

一昨年、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、昨年秋から実体経済に重大な影響を及ぼしています。当業界も例外ではなく、残念ながらいまだ、その泥沼から抜け出すことができていません。結果として塗料業界の今年度上半期の出荷量は対前年対比82%という厳しい状況で推移しています。

10月の月例経済報告でも、景気は持ち直してきているものの、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあるとしています。先行きについては、海外経済の改善などを背景に景気持ち直しが期待される一方、金融資本市場の変動の影響など、景気を下押しするリスクに留意する必要があるとの報告がなされています。

100年に一度と言われる危機のただ中にありますが、本日表彰を受けられる皆様は、バラエティーに富む機能を持つ塗料というモノづくりに携わる者としての誇りを持ち続けていただきたい」と述べた。

このあと、来賓を代表して近畿経済産業局長、大阪府知事の祝辞（代読）があった。

続いて表彰式があり、優秀従業員を代表して岡田典子さん（桜宮化学）が「われわれ個々が持っている個性と才能を発揮し、職務に邁進していきます」と謝辞を述べた。

そのあと祝賀会が開かれた。

表彰者は次の通り。

▽優秀社員受賞者＝山本祥久、門田均（アサヒペン）中村景子（石川ペイント）江見薫、今堀達哉（イサム塗料）竹田昌彦、石川和功（大橋化学工業）山本真子（オリエンタル塗料工業）木村信政（関西パテ化工）小笠原隆（カシュー）高杉修一郎（カナエ塗料）細川浩司（久保孝ペイント）森田直樹、桜井弘美（斎藤塗料）溝口義章、長谷川隆久、岡田典子（桜宮化学）赤野昌史（三彩化工）松倉匡希（サンユーペイント）桐村昇（シャープ化学工業）植田智治（第一塗料製造所）中子光晴（大信ペイント）林将尊、三浦正広（大泰化工）西村聡、竹田勝（大同塗料）田村万里子（ターナー色彩）坪根麻美（中央ペイント）山路貴仁（日亜ペイント）古澤賀津義（ヒヨコペイント）川崎崇史、磯崎哲也（水谷ペイント）藤村美保（ミクニペイント）

第32回 井上春成賞 受賞
地球温暖化対策壁用塗料
ナノコンポジットW
水谷ペイント株式会社

森川肇氏
（ヤオテック社長）
大阪市長表彰受賞

森川肇氏（大阪・ヤオテック社長）は5日、大阪市都島区網島町の大阪市公館で平成21年度の大阪市中小企業技能功労者として大阪市長表彰を受賞した。

同表彰は大阪府塗装工業協同組合が推薦し、大阪市技能職団体連絡協議会が大阪市経済局経由で大阪市長に推薦。大阪市技能職団体連絡協議会は、大阪市の技能職団体46団体で構成され、本年度で20周年を迎えている。

本年度の受賞者は、中小企業技能功労24人、青年優秀技能者10人の計34人だった。

特集
塗料原料・機材総合
2～3面

“業界情報発信源”【e-toryo】
インフォ／NEWS／お知らせ／海外…情報満載。
塗料・塗装業界リーディングサイト
http://www.e-toryo.co.jp
Newborn! 公式サイト
★電子新聞サンプル版公開中!! お試し下さい。
塗料報知新聞社　Web-Site
log on～for your latest business～

塗言録

久し振りにエスケー化研の藤井實社長にお会いした。話の切り出しは「今年は3倍頑張った」だった。原油高騰、金融危機と続いた難局突破に率先垂範する社長の見事な対応である▼どんなことにも前向きな藤井社長も、会社の長い歴史の中で今回受けた波動が一番重く圧し掛かったようだ。対応策として活躍の場を広げ、厳しい経営環境が続く建築仕上業界の中で、今期中間決算は利益を伸ばし、通期はさらに明るい見通しである▼これまでボーダーレス時代を先取り、タイ、シンガポール、マレーシア等へ進出、確固たる実績を上げてきた。中国、韓国の生産体制も順調。近年、インドへ本格的に販売ルートを広げている。特に、需要拡大が続く中国ではSKKブランドが高まり、地方都市で全面採用のケースもある▼広いグラウンドでの活動日誌は目を見張るものがある。毎月20日ほど海外のホテル住まいである。今年の師走は国内1週間、20日以上海外生活が組まれている。土、日も接待、休む間がない強硬スケジュールだ▼楽しみを尋ねると「2010年は虎年、会社も私にとっても非常にいい年になる気がしている」と。虎は一夜に千里を駆けるスピードと破壊力がある。「新年は虎の気持ちで駆け巡り、そこから新しい道を切り開き、今までにない良い年になる」が新年への意気込みだ▼国内でもしっかりしたスタンスを置き、高機能型、高耐久性製品を開発、メーカーの責任を果たして、新しい需要を切り開いていくと、夢の実現に常に創意工夫と全力疾走。このパワーは年々アップしているようだ。

ALESCO
関西ペイント株式会社
塗料だからこそ実現できる
継ぎ目のない空間・・・
多彩模様だからこそ実現できる
本物の奥行き・・・
zola coat
水性 multi-color plastic coating
zola-coat II
多彩模様塗料《水性ゾラコートII》
水性ゾラコートがさらに色鮮やかに生まれ変わりました。色の違う粒が不規則に壁面を演出し、室内空間を彩り豊にいたします。もちろん、環境に優しい水性塗料です。カラーバリエーション（標準色）は25色を取り揃えています。
www.kansai.co.jp
●この製品に関するお問い合わせは最寄りの関西ペイント販売、またはカンペ共販までお問い合わせ下さい。

日本ペイント
Basic & New
自然色彩と暮らす
ハナコレクションは花の彩りをテーマにした、新しい外壁リフォームのかたちです。
YELLOW CASUAL 太陽のように明るく、暮らしを包む輝き。
Color Simulation
Fresh 爽やかな色合いが暮らす人のセンスを表現
THEME FLOWERS
YELLOW-1
家の塗り替えはアートになる。
日本ペイントのハナコレクションで美しいカラーコーディネイト作品がぞくぞく生まれています。その美しさを日本ペイントの高性能塗料が守ります。
HANA COLECTION
情報はホームページで
ハナコレ　検索
http://www.hanacole.com